



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング
 コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 佐藤 敏昭
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3352-8555

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,746	△23.2	1,294	△39.0	1,534	△29.9	1,174	7.7
25年3月期第1四半期	8,783	50.1	2,121	97.0	2,188	104.8	1,090	122.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,484百万円 (36.4%) 25年3月期第1四半期 1,087百万円 (206.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	61.68	—
25年3月期第1四半期	57.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
26年3月期第1四半期	58,867		45,900	78.0	2,409.57			
25年3月期	58,728		44,987	76.6	2,361.65			

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 45,900百万円 25年3月期 44,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,930	△3.7	3,000	△15.1	3,180	△13.5	2,000	△2.6	104.99
通期	31,500	3.9	6,420	1.1	6,790	0.7	4,130	8.6	216.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	22,720,000 株	25年3月期	22,720,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,670,736 株	25年3月期	3,670,656 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	19,049,310 株	25年3月期1Q	19,049,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による経済政策及び金融政策により、円安の進行や株価の上昇が見受けられ、景気回復への期待感が高まっているものの、円安による輸入価格の上昇、雇用や所得の改善の遅れ等、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、以前にも増して二極化が鮮明となっており、中小型のパチンコホールが閉店・休業していく一方で、大型チェーン店による新規出店が進みました。また、個人消費の低迷が続いていることから集客は難しく、パチンコホールの経営環境は依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは、開発、製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品のリリースを行ってまいりました。また、充実したアフターサービス体制で付加価値の向上に努め、他社との差別化を図りながら提案販売を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高67億46百万円（前年同四半期比23.2%減）、営業利益12億94百万円（同39.0%減）、経常利益15億34百万円（同29.9%減）、四半期純利益11億74百万円（同7.7%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

集客のために玉積み演出が主流となっているパチンコ業界において、従業員の玉運び・玉積み業務をなくし、少人数で効率的なホール運営ができる「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を中心に提案販売してまいりました。パーソナルの機能面や利便性はパチンコホールや遊技ファン等、多くの方に認知され、発売以来、導入店舗数は増加し続けております。競合他社の参入により価格競争は厳しい環境下であり、パーソナルの他、パチスロ機向けメダルサンドや空気力で紙幣を搬送するAir紙幣搬送システム「HAYATE疾風」等、製品の総合力で当社ユーザーを中心に販売を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は55店舗、第1四半期連結累計期間末時点における累計導入店は1,198店舗（市場シェア12.6%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は57店舗、導入（実稼働）店舗数は累計2,063店舗（市場シェア21.7%）となりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、52億82百万円（前年同四半期比25.2%減）、セグメント利益13億29百万円（前年同四半期比27.8%減）となりました。

[自動認識システム関連事業]

当事業は、アミューズメント関連事業に続く事業の柱として、当社子会社の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、RFIDやバーコード等を活用した自動認識システムを提案販売してまいりました。

新周波数帯で長距離での読み込みに適しているUHF帯RFIDは、新しいビジネスシーンでの需要が見込まれており、UHF帯に対応したシステムを開発し、展示会への出展を通して新規分野の開拓に努めてまいりました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、12億42百万円（前年同四半期比17.5%減）、セグメント利益62百万円（前年同四半期比64.3%減）となりました。

[ホテル関連事業]

観光業におきましては、新政権の経済政策により、国内レジャーの回復や円安による外国人観光客の増加等、景気の回復に向けて、期待感が高まってきました。

福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に近い立地の良さと質の高いサービスが評価され、リピート客が多く、高稼働率を維持することができました。

静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、リピート客の獲得や客単価の上昇に向けた企画を実施してまいりました。また、6月に富士山が世界文化遺産に登録され、国内外からの注目度も高いことから、今後の集客に期待ができます。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、2億21百万円（前年同四半期比3.3%増）、セグメント損失99百万円（前年同四半期は94百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は588億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億39百万円増加いたしました。

流動資産は363億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億56百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、現金及び預金が12億35百万円増加し127億7百万円となりました。

固定資産は224億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億17百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、投資その他の資産が1億42百万円減少し78億45百万円となりました。

流動負債は81億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億51百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が8億26百万円減少し2億36百万円となりました。

固定負債は48億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億21百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、リース債務が1億24百万円減少し27億70百万円となりました。

純資産は459億円となり、前連結会計年度末と比較して9億12百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が6億3百万円増加し369億65百万円、その他有価証券評価差額金が3億9百万円増加し5億83百万円となりました。

自己資本比率は78.0%となり、前連結会計年度末と比較して1.4ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は182億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億35百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は11億13百万円の収入(前年同四半期は15億11百万円の収入)となりました。主な要因は、売上債権の減少額12億12百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は7億43百万円の収入(前年同四半期は66百万円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入11億18百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億18百万円の支出(前年同四半期は5億7百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億18百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,472,040	12,707,442
受取手形及び売掛金	6,557,479	5,344,877
リース投資資産	4,212,124	4,003,448
有価証券	5,990,849	5,991,517
商品及び製品	1,904,605	2,066,750
仕掛品	155,291	163,332
原材料及び貯蔵品	1,430,832	1,518,110
その他	4,302,528	4,587,177
貸倒引当金	△6,934	△7,042
流動資産合計	36,018,817	36,375,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,102,968	8,038,291
土地	5,796,545	5,796,545
その他(純額)	528,149	524,493
有形固定資産合計	14,427,664	14,359,330
無形固定資産		
のれん	86,972	72,477
その他	207,548	215,463
無形固定資産合計	294,521	287,941
投資その他の資産		
投資有価証券	6,513,302	6,503,914
その他	1,692,019	1,537,834
貸倒引当金	△217,446	△196,689
投資その他の資産合計	7,987,876	7,845,058
固定資産合計	22,710,062	22,492,330
資産合計	58,728,879	58,867,943
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,778,266	2,926,054
リース債務	2,061,879	1,994,618
未払法人税等	1,062,912	236,851
賞与引当金	447,399	232,306
その他	2,442,169	2,750,808
流動負債合計	8,792,628	8,140,640
固定負債		
リース債務	2,894,440	2,770,035
退職給付引当金	168,404	171,873
役員退職慰労引当金	592,805	600,515
資産除去債務	18,908	19,012
その他	1,273,899	1,265,399
固定負債合計	4,948,459	4,826,837
負債合計	13,741,088	12,967,478

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	36,361,565	36,965,053
自己株式	△7,954,348	△7,954,506
株主資本合計	44,713,146	45,316,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,645	583,988
その他の包括利益累計額合計	274,645	583,988
純資産合計	44,987,791	45,900,465
負債純資産合計	58,728,879	58,867,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,783,676	6,746,361
売上原価	4,447,382	3,328,419
売上総利益	4,336,294	3,417,942
販売費及び一般管理費	2,215,006	2,123,777
営業利益	2,121,287	1,294,164
営業外収益		
受取利息	1,091	1,173
受取配当金	40,270	219,741
その他	25,511	24,563
営業外収益合計	66,872	245,478
営業外費用		
為替差損	—	5,121
営業外費用合計	—	5,121
経常利益	2,188,160	1,534,520
特別利益		
投資有価証券売却益	—	391,285
特別利益合計	—	391,285
特別損失		
投資有価証券評価損	317,882	—
特別損失合計	317,882	—
税金等調整前四半期純利益	1,870,278	1,925,806
法人税、住民税及び事業税	556,954	571,865
法人税等調整額	222,525	178,972
法人税等合計	779,480	750,837
少数株主損益調整前四半期純利益	1,090,798	1,174,968
四半期純利益	1,090,798	1,174,968

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,090,798	1,174,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,800	309,342
その他の包括利益合計	△2,800	309,342
四半期包括利益	1,087,997	1,484,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,087,997	1,484,311

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,870,278	1,925,806
減価償却費	160,871	136,417
のれん償却額	14,495	14,495
引当金の増減額(△は減少)	△186,678	△224,562
受取利息及び受取配当金	△41,361	△220,914
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△391,285
投資有価証券評価損益(△は益)	317,882	—
売上債権の増減額(△は増加)	757,631	1,212,602
リース投資資産の増減額(△は増加)	213,554	202,190
たな卸資産の増減額(△は増加)	△295,500	△257,463
営業貸付金の増減額(△は増加)	△290,774	△410,031
仕入債務の増減額(△は減少)	662,794	147,788
リース債務の増減額(△は減少)	△202,730	△191,666
前受金の増減額(△は減少)	△318,317	△209,298
その他	147,837	538,640
小計	2,809,981	2,272,718
利息及び配当金の受取額	41,356	220,914
法人税等の支払額	△1,339,347	△1,379,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,511,990	1,113,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,134	△44,722
投資有価証券の取得による支出	△150	△245,805
投資有価証券の売却による収入	—	1,118,592
貸付金の回収による収入	243	175
その他	△51,665	△85,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,707	743,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△110	△157
配当金の支払額	△507,838	△518,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,948	△518,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,728	△2,236
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	943,063	1,335,999
現金及び現金同等物の期首残高	15,957,187	16,912,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,900,250	18,248,729

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	7,063,186	1,506,171	214,318	8,783,676	—	8,783,676
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	129,078	68,004	131	197,213	△197,213	—
計	7,192,265	1,574,175	214,450	8,980,890	△197,213	8,783,676
セグメント 利益又は損失 (△)	1,841,560	174,257	△94,112	1,921,705	199,582	2,121,287

(注) 1. セグメント利益の調整額199,582千円には、セグメント間取引消去199,582千円が含まれており
ます。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	5,282,103	1,242,939	221,318	6,746,361	—	6,746,361
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	159,286	18,270	5	177,563	△177,563	—
計	5,441,389	1,261,210	221,323	6,923,924	△177,563	6,746,361
セグメント 利益又は損失 (△)	1,329,148	62,180	△99,196	1,292,132	2,031	1,294,164

(注) 1. セグメント利益の調整額2,031千円には、セグメント間取引消去2,031千円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。